

「第 19 回クラブスタッフ研修会」参加報告

10月9日（日）磯部会長・宮内副会長・山田の3名が参加させていただきました。
テーマは『元気なクラブの事例から学ぶクラブ運営法』で、内容は以下の通りです。

午前 ①『私たちの活動と社会の関係』（S協倫理要綱解説：S協半田常務理事）
『クラブ状況調査結果の最新情報報告』（総務委員 武田好史氏：町田SDC）

午後 ②『パネルディスカッション』
～元気のあるクラブ運営事例から学ぼう～
会場とパネリストが共に考え合います

■パネリスト：統括支部内4県連のクラブの代表

- ・東京都連 小田 啓子氏（西東京スクエアダンスクラブ）
- ・神奈川県連 飯島 秀子氏（瀬谷ワンセットスクエア）
- ・茨城県連 田野 紘志氏（OWCスクエアダンスクラブ）
- ・新潟県連 阿部 友子氏（新潟シーガルスクエアーズ）

■コーディネーター：井上 忠志氏（総務委員：藤代リバーサイドスクエアーズ）

冒頭、高瀬会長よりご挨拶がありました。

『若いコーラー、リーダーの育成が急務で、地域のクラブを増やさなければ

会員の増加は得られない。

アニバーサリーなどを盛り上げ様とする感情が薄れて来ているように思う。

例えばin東京の成功は5年をかけて、250名ものスタッフが取り組んでいた。』

（どこの地区のコンベンションスタッフも頑張っていると思うが・・・）

**常々高瀬会長が言われる持論ですが今のSDの状況を表しているように
思われます**

高瀬会長のご挨拶のあと式次第に従い進められました。

2/3

午前 ①S協・半田常務理事より「倫理要綱」について解説がありました。

「倫理要綱」については『スクエアダンスは、誰もが参加でき、楽しみながら健康の維持・向上を図ることができる生涯スポーツ・レクリエーションです。これを普及・振興し、発展させるため、愛好者一人一人が立派な社会人として行動することを自覚し、スクエアダンスを楽しめる環境を創造していくことの大切さを認識することが必要です。・・・・・・・・・・・・・・・・

この趣旨で始まる「倫理要綱」に就きましてはS協機関紙7月号・9月号に掲載されていますのでご覧ください。

②総務委員・武田好史氏より、「クラブ状況調査結果の最新情報報告」がありました。資料の詳細数字については、11月度役員会議の際に提出された資料をご参考ください。

また、S協では会員を増やすと言う大きな課題を抱えています。

S協の目標は**会員を5年で2万人にする**との事です。S協の会員は現在14000名ほどです。全支部が同じ比率で増加するとしても3年後で720名足らずしか増加しない(15,300名弱)。これでは2万人達成は遠い夢と消える。

ではどうすればいいのか？

午後からのパネルディスカッションを参考にサニーコーストでも抱えている同じような問題を共有したい。

午後 『パネルディスカッション』

(その1) 午後からのパネルディスカッションの前に幾つかのキーワードが提示されました。

(キーワード)

(工夫)

1. ビギナーを集めよう

・ さそいかけの言葉を工夫

脳活性化」「知的なおしゃれ」「1年に一度の仲間入りのチャンス

・ 先ずは無料体験会

無料体験、どんな人に来て欲しいか

(夫婦・主婦・男 or 女・定年サラリーマン)

・ 脱落者をなるべく少なくする

・ 卒業生に対するフォロー

・ 会員の理解で協力

・ 例会のプログラムを考える

2. クラブの活性化

・ 会員を辞めさせない工夫

- ・ 休会、退会しそうな会員への配慮
- ・ クラブは何がいいのか？
- ・ マンネリ例会の工夫
- ・ 年内計画の立て方
- ・ 元気なクラブにするためアニバーサリーを2・3・5年後に開催
- ・ 明日への種まき 学校等での指導
} 教育委員会等の申請・許可が必要なため期間がかかるので難しい？

*S協機関紙9月号に記載の湘南マリーンの「中学校のふれあい体験活動」参考になるのではないのでしょうか！

3. コーラー・リーダーの役割について

(クラブを元気にするコーラー・リーダー)

- ・ 会員と同じ目標
- ・ ぶれない率先行動
- ・ 適材適所の会員を活用

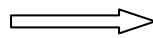
(その2) パネルディスカッションのためのキーワードの問いかけの後統括部門内4県連のクラブの代表パネリストによる討論が始まりました。

各パネリストの発表(討論)は私たちのクラブ(サニーコースト)で行っていることと変わりが無い様に思いましたが、コーラー・リーダーの方達から熱意が感じられました。各クラブとも現コーラーの他にコーラー候補者が数名いらっしゃるようです。

また、まだクラブが熟していないので、MS・P・アドバンスを習得している会員が均等にバラけているので、各会員間にクラブ運営に対する上昇機運があり、問題発生が少ないように思いました。

(まとめ) 井上忠志氏(総務委員)

1. クラブ内の情報の共有
2. 交流の輪を作る
3. 相手の立場を考える運営
4. 仲間づくりの大切さ
5. 市民に選択されるクラブ



今日学んだ事を会員に伝えて欲しい